



あぐり情報 Aguri Information

営農生活課
中嶋正宗

梅雨〜初夏 ネギの病害虫

今年は近年稀にみる暖冬から始まり、気温の乱高下がありながらも平年差2℃以上の暖かさで推移しています。長期予報でも5月、6月は共に、平年並みかそれ以上の気温と予想されており様々な病害虫の発生が予想されます。

今回は作付けが多いネギの、今後注意が必要な病害虫についてご紹介いたします。

○アザミウマ類（スリップス）

アザミウマは葉にかすり状の食害痕を付ける害虫です。傷口からは黒斑病や軟腐病が感染しやすくなるほか、アザミウマ自身も、エゾ条斑病を媒介します。

○べと病

べと病は、葉などに大きな長い楕円の病斑を持ち表面に白いカビを生じるのが特徴で、進行すると株全体が淡黄色にしおれ枯れる病気です。

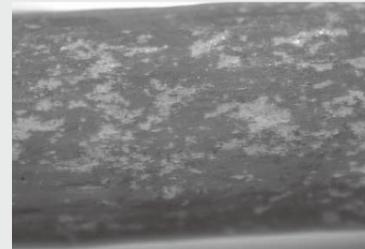
5月は越冬した病原体が分生子を形成する時期で、10℃前後の気温で湿度が高い日が続くと畑全体に被害が拡大します。病原の生存と感染にはとにかく湿度が関連しており、罹病株がある状態で降雨があった場合は、感染が広がっていると前提して発病を抑える防除をしましょう。

一度全体に広がってしまうと、ほとんど薬剤の効果を得られないため、早期防除と降雨ごとの薬剤散布が基本になります。また、3年以内に多発したことがある畑では、伝染源が多く残っている可能性が高いので、より注意が必要です。



べと病斑

次世代が産生される速度が速く個体密度が高まりやすいため、被害が開始したころの早期防除が要になります。今冬は気温が高かった為、越冬成虫が多いことが予想されますので、多発により注意が必要です。また5月に乾燥する日が続く、盛夏で急増する可能性が高くなりますので、畑をよく観察し発生の兆しを見逃さないようにしましょう。



ネギアザミウマによる食害痕

○タマネギバエ・タネバエ

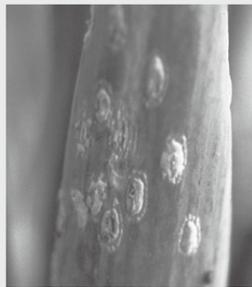
タマネギバエ・タネバエともにネギの幼苗の根部を食害し枯死させる害虫です。ネギ特有の臭い、堆肥等の有機物の臭いに誘引され産卵するため、未熟堆肥の施用を避け、施用する場合は土中深くに

○さび病

糸状菌（かび）による病害で、紡錘形で膨れ上がったさび色の病斑を持ちます。

本病は、気温25℃以下・湿度95%以上が6時間継続すると感染・発病するという特徴があり、降雨が長く続いた場合には感染が広がっている可能性が非常に高いため、警戒が必要です。

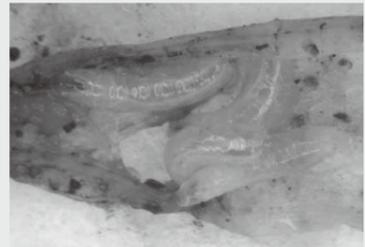
感染から発病までは25℃以下で気温が高ければ高いほど早くなり、25℃以上では感染していても発病しません。そのため盛夏では被害が消えたように見えますが、秋になり気温が下がると再び発病して感染を広げるため、伝染源となる枯死葉や残さは畑に残さないようにしましょう。また、初発生が早い年ほど被害が大きくなる傾向があるので、発生の初めを見落とさないことが重要になります。



さび病斑

すき込むなど、ハエを寄せ付けな対策が必要になります。

両者は見た目や被害の様子が似通っており判断が難しいため、タマネギバエ・タネバエ両方に登録のある剤を散布することがおすすめです。

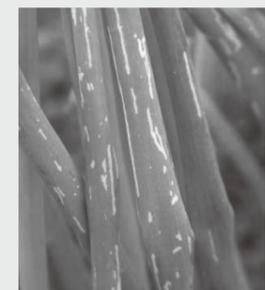


タマネギバエの幼虫

○ハモグリバエ

ハモグリバエは幼虫が葉の内部に侵入し、葉肉を食害する害虫です。苗に侵入された場合、枯死することが少なくない為、多発すると致命的な被害につながる害虫です。

ネギの葉肉だけを食害し、表皮が破れることはほとんどないため、食害痕は外から見ると白いすじ状になり、多発すると被害葉の大部



ハモグリバエによる食害痕

分が白くなってしまうこともあります。

春に乾燥する日が多いと多発する傾向があり、播種時に粒剤を使用していない場合は、早めの防除が必要になります。また、多発してしまった場合や、苗で発生した場合など防除に急を要する時は、粒剤ではなく、乳剤や水溶性の葉面散布を行った方が、短時間で効果が発現するため被害を抑えやすくなります。

◇農薬の適正使用について

農薬を使用する際には、ラベルの記載事項に従って、正しく使用しましょう。同一成分の使用回数に注意し、複数系統の農薬を用いたローテーション防除を行いましょう。

対象病害虫	農薬の名前	使用時期	使用回数	備考
べと	ランマンフロアブル	3日前	4回以内	4 予防・治療
	リドミルゴールドMZ	14日前	3回以内	予防・治療
さび	カナメフロアブル	前日まで	4回以内	予防・治療
	パレード20フロアブル	前日まで	3回以内	予防・治療
さび・べと	アミスター20フロアブル	3日前	4回	予防・治療
	メジャーフロアブル	前日	3回	予防・治療
タネバエ・タマネギバエ	ジュリボフロアブル	育苗期後半～定植	1回以内	0.5ℓ /ペーパーポット
アザミウマ・ハモグリバエ	ダントツ粒剤	3日前	4回以内	株元散布
	グレーシア乳剤	7日前	2回以内	
	プロフレアSC	前日まで	3回以内	
	ディアナSC	前日まで	2回以内	
タネバエ類・アザミウマ類・ハモグリバエ類	ベリマークSC	7日前	1回以内	0.5ℓ /ペーパーポット